



臨時国会での
発議をとめよう

安倍晋三首相は8月12日、下関市の講演で「いつまでも議論だけを続けるわけにはいかない」とし(上写真)、9月20日の自民党総裁選での3選を経て、秋の臨時国会に改憲案を提出することを宣言しました。

現行憲法9条を改定して「自衛隊」を明記し、「自衛」の名で全世界への自衛隊出兵を可能にしようとしています。安倍首相は、再びの「戦争のできる国」へ、「働き方改革」など社会のあり方すべてを変えようとしています。

8・6広島ー8・9長崎では、「核兵器禁止条約」に参加

しないことを明言し(下写真)、被爆者の怒りを買いました。辺野古新基地建設を推し進める沖縄では、8月11日に7万人の大抗議集会がありました(上写真)。私たちも8月6日に原爆ドーム前から、米韓の労働者とともに安倍首相弾劾のデモをやりました(下写真)。

国境をこえた労働者・学生の団結と行動が戦争をとめます。秋の臨時国会を包囲する大デモに立ち上がろう!



暴かれる大学の腐敗! 学生の方で変える

本来なら、大学人こそが改憲・戦争阻止のために立ち上がらなければならない時です。しかし、今や大学は腐敗・墮落してカネまみれの「利権の巣窟」となっています。

今年5月からは、「日本大アメフト・悪質タックル事件」が大問題となりました。それに続き、東京医科大学で、文部科学省幹部子弟の裏口入学と、女性・浪人生の合格者削減のための点数操作が明らかとなりました(下写真)。

学生を暴行にかり立てる「教育者」。点数操作を「必要悪」と開き直る「教育者」。絶対に許せない! これは日大や東医大だけの問題ではありません。全国の大学が「カネもう

け優先主義」に染まり、政府や大企業の言いなりとなり、高い学費や奨学金で学生・保護者を貧困に追い込んでいます。学生は「商品」ではありません。「教育の私物化」は許されません。大学ではすでに軍事研究が始まっています。「モノ言わぬ大学」の先にあるのは、再びの戦争協力です。

こんな大学のあり方を根本的に変えよう! 京都大では、大学当局による一方的な「立て看板規制」に対して、学生が体をはった実力撤去阻止行動に立っています(下写真)。

大学の主人公は学生です。学生の団結した力を甦らせるため、ぜひ9・1~2全学連大会に集まってください!



【前進チャンネル】



【全学連Twitter】



全学連第79回定期全国大会

改憲・戦争をとめる大学ストライキをやろう!

9月1日(土)~2日(日)

(1日) 月島区民館 (2日) 笹塚区民会館

〔中央区月島2-8-11〕

〔渋谷区笹塚3-1-9〕

※1日は午前10時開始 参加費用=1000円(会場代、資料代)

